

## 石川四高記念文化交流館の概要

### (1) 特色

- 石川近代文学館：本県ゆかりの文学者の著書や原稿等を展示する文学館  
明治から昭和にかけて活躍した泉鏡花・徳田秋聲・室生犀星の  
三文豪から現代の文学者まで幅広く展示
- 石川四高記念館：明治26年から約60年間の旧第四高等学校として使用された  
歴史と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示をする記念館

### (2) 沿革

- 明治24年 本館建築
- 明治26年 門衛所建築 ※現在も建築当時の外観を留めている歴史的建造物
- 昭和25年 四高閉校  
金沢大学理学部として使用（本館）  
金沢大学理学部守衛室として使用（門衛所）
- 昭和39年 金沢大学理学部が金沢城内に移転  
金沢地方裁判所の仮庁舎として使用（本館）
- 昭和41年 金沢地方裁判所が移転
- 昭和43年 石川県立郷土資料館として使用（本館）  
石川県立郷土資料館守衛室として使用（門衛所）
- 昭和44年 国指定重要文化財に指定（本館）
- 昭和61年 郷土資料館が歴史博物館として出羽町に移転開館  
石川近代文学館として使用（本館）  
倉庫として使用（門衛所）
- 平成20年 近代文学館が石川四高記念文化交流館としてリニューアル

### (3) 石川四高記念文化交流館ミュージアムショップの現況

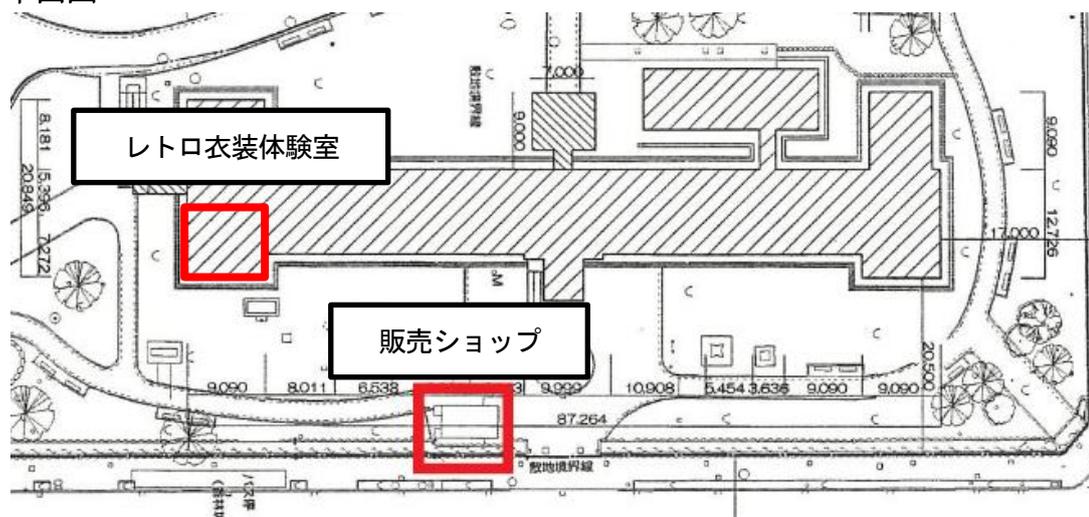
- エントランス左手の空間（約7㎡）で販売しており、グッズの種類や数に制約があり、売り上げは低調
- ・年間売上：約10万円
  - ・販売品：図録、本県出身作家書籍、クリアファイル、絵葉書、オリジナルシール、メモ帳、ビニール傘、缶バッジ

#### (4) 立地条件



- ・敷地は、兼六園すぐ近くの「兼六園周辺文化の森」に位置する。また、金沢市最大の繁華街である片町や香林坊にも近く、人通りは多い。
- ・近隣には金沢駅に発着するバス停が多くあり、利用者も多い。

#### (5) 平面図



①レトロ衣装体験室  
別添資料参照

②販売ショップ  
別添資料参照